

表 12.13.1-6(7)人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果

(三峰川サイクリング・ジョギングロード)

予測項目		予測結果
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変		計画路線は、三峰川の渡河部においてサイクリング・ジョギングロードと交差する。三峰川右岸は、三峰川サイクリング・ジョギングロードに橋台が設置されるため、付替えが必要となる。
利用性の 変化	利用性の 変化	計画路線は、三峰川の渡河部において三峰川サイクリング・ジョギングロードと交差する。しかし、交差部においても影響が可能な限り小さくなるよう自転車及び人が通行できる高さを有する配慮や、 立体交差部に照明灯を設置すること により、サイクリングや河川敷内における施設利用の支障が生じる場所、利用可能な人数の変化はないと考えられる。したがって、道路の存在がこれらの利用に支障が生じるおそれは低いと考えられる。
	到達時間・ 距離の変化	事業による活動の場への到達経路の分断は、原則行われない。また、事業により活動の場への到達時間は基本的に変更ないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化による影響が生じるおそれは低いと予測される。
快適性の変化		計画路線は、三峰川の渡河部においてサイクリング・ジョギングロードと交差する。また、計画路線は高架構造で通過することから、近傍において一部風景の変化が生じる。

